

令和3年度美馬市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和4年2月25日（金） 午後1時25分から午後2時15分まで

2 場 所 美馬市役所南館 3階306会議室

3 出席者 美馬市長 藤田 元治
(構成員) (教育委員会)
教育長 村岡 直美

教育長職務代理者 上田 加代
委員 近藤 陽子
委員 眞鍋 昇司
委員 河合 純治

(構成員以外の出席者)

大泉副教育長
住友次長（地域学習推進課長事務取扱）
藤本教育総務課長
藤山教育指導監
鉄野脇町幼稚園長
片山教育総務課課長補佐
吉田企画総務部長
吉本総務課長（事務局長）
原総務課主幹（事務局）

4 欠席者 なし

5 傍聴者 なし

6 日 程 開 会
市長あいさつ
議題
(1) 美馬市の教育に関する大綱について
(2) 令和3年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について
(3) 教育費の令和4年度当初予算（案）について
(4) その他の件について
閉 会

吉田企画総務部長

企画総務部長の吉田でございます。
定刻となりましたので、ただいまより令和3年度美馬市総合教育会議を始めさせていただきます。
それでは、開会にあたりまして、藤田市長よりご挨拶を申し上げます。

藤田市長

本日は、令和3年度美馬市総合教育会議を開催いたしましたところ、委員の皆様には、ご多忙にも関わらず、ご出席を賜り誠にありがとうございます。
また、皆様方には、常日頃から、本市行政各般、とりわけ、教育行政の推進に、ご尽力を賜っておりますことに対しまして、この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。
さて、本年度も残すところ、あと1か月余りとなりましたが、改めて振り返りますと、本年度も、新型コロナウイルス感染症に向き合い、その対策に取り組んだ一年でありました。
その影響は、児童生徒の生活にも、大きく影響するものとなりました。
そのような状況におきましても、本市では、感染拡大の防止対策と社会経済活動の維持を両立させるよう、各種施策を、スピード感を持って実施してまいりました。

藤田市長

また、感染対策の決め手とされる新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、市民の皆様が速やかに接種が実施できるよう、本年度5月に保健師などを中心とした新型コロナウイルス ワクチン接種対策課を設置し、希望される市民が一日も早く、確実に接種をしていただけるようすすめているところでございます。

現在、感染予防効果や重症化予防効果を高める3回目の接種につきまして、順次接種を開始しているところであります。

なお、5歳以上11歳以下の子どもを対象とした第1回目、第2回目のワクチン接種につきましては、3月からの開始に向け、現在、県や関係医療機関と調整を進めているところでございまして、接種体制の確保に取り組んで参ります。

現在、新型コロナウイルス感染症第6波による蔓延防止措置が、他道府県で発出されており、まだ、その収束は見通せない状況ではありますが、今後も、市民の皆様への命と生活を守るため、全庁一丸となって全力で取り組んでまいりたいと考えております。

さて、令和4年度は、第3次総合計画の折り返しの年に当たります。

このため、本市の将来像「美しく駆ける 活躍都市 美馬」の実現のため、国の施策とも連動させながら、これまでの2年間取り組んできた各施策をブラッシュアップさせるとともに、新たな課題への対応にも果敢にチャレンジしてまいります。

その中の、学校教育関係予算では、各種検定料助成事業として、これまでの英語検定に加えて漢字、算数、数学検定の受検料助成費を計上しております。

また、引き続きICTを活用し、保護者との連絡ツールや子どもたちの家庭学習用の学習教材ソフト等の使用経費を計上しております。

次に、社会教育関係予算では、国指定史跡郡里廃寺跡の整備について、整備基本計画に基づき、令和4年度から令和5年度にかけて、事業に係る設計業務に着手いたします。

郡里廃寺跡の歴史や文化を活かし、継承するとともに、地域における交流の場となるよう史跡公園の整備を推進してまいります。

市といたしましては、今後とも教育委員会との連携をもとに、教育行政のなご一層の推進に努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

吉田企画総務部長

ありがとうございました。それでは、議題の方に移らせていただきます。議事の進行につきましては、美馬市総合教育会議設置要綱第4条の規定によりまして、藤田市長をお願いいたします。

議長
(藤田市長)

それでは、これより、私の方で進行をさせていただきますので、よろしくお願ひ致します。

まず、議題(1)の美馬市の教育に関する大綱について、お諮りしたいことがございますので、事務局から説明をしてください。

事務局長
(吉本総務課長)

それでは、議題(1)美馬市の教育に関する大綱についての説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。

上段地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づきまして、本会議において、美馬市の教育に関する大綱について協議いただくものでございます。

第1条の3第1項地方公共団体の長は、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとするとしておられまして、大綱は、教育基本法17条に規定する基本的な方針を参酌する施策で、地方公共団体の長が定めるものでございます。

続いて、中段にございます、教育基本法第17条第1項で、政府は基本的な計画を定めること、第2項、地方公共団体は国の計画を参酌し、地域の実情に応じた基本計画を定めることとなっております。

事務局長
(吉本総務課長)

そのような中、平成26年文科省通知「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について」によりますと、教育振興基本計画を策定している場合、地方公共団体の長が会議において協議・調整し、教育振興計画を大綱に代えることができると判断した場合は、別途大綱を策定する必要がないということでありまして、すでに教育振興計画を策定済みの美馬市はこの自治体に該当するものでございます。

これまで美馬市におきましては、第1次及び第2次教育振興計画を策定し、本会議において、教育振興計画を大綱に代えとの決定をいただいております。

このような中、令和4年度から向こう5年間の教育方針を定めた第3次美馬市教育振興計画につきまして、先程の教育委員会におきまして承認いただいたとお聞きしております。

つきましては、この教育振興計画をもって美馬市の教育に関する大綱としたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

以上説明を終わります。

議長
(藤田市長)

ただ今事務局より説明がありましたとおり、第3次美馬市教育振興計画をもって、美馬市の教育に関する大綱とさせていただきたいと考えておりますが、ご意見はありませんか。

(意見なし)

議長
(藤田市長)

ご意見がないようでしたら、お諮りします。議題(1)については、第3次美馬市教育振興計画をもって、美馬市の教育に関する大綱とすることとしてよろしいか。

(異議なし)

議長
(藤田市長)

異議なしと認めます。議題(1)については、第3次美馬市教育振興計画をもって、美馬市の教育に関する大綱とすることといたします。

議長
(藤田市長)

続きまして、議題(2)の令和3年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、事務局から説明をしてください。

事務局長
(吉本総務課長)

それでは、議題(2)の令和3年度教育委員会所管の主要事業の実施状況についてそれぞれ担当課から、説明させていただきます。

まず、教育総務課、続いて地域学習推進課から、本年度実施いたしました、主な事業の概要について説明させていただきます。

藤本教育総務課長

それでは議題(2)令和3年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、教育総務課所管分について説明させていただきます。

令和3年度総合教育会議資料2の1ページをお願いいたします。

始めに教育のICT化に向けた環境整備事業でございます。

1事業目的は、5.0 Society時代に対応した地域や日本の未来を主体的に担う子どもたちを育成するもので、2事業内容といたしまして、本年度は、高速大容量の校内LAN及び一人一台端末を用いて学校と家庭学習への活用、また感染症に対応するため、端末の持ち帰り体制の構築を行いました。

家庭のネット環境について、保護者からの技術的な相談には、ICT教育支援員や教育研究所が対応し、支援を行っております。

学校における活用では、クラウド型の学習アプリケーションとして、中学校ではリクルート社のスタディサプリ、小学校では東京書籍のタブレットドリルを導入し、朝学習や授業の振り返りに活用しております。穴吹中学校は積極的な活用がリクルートのホームページで、紹介されました。

家庭では、一人一台の端末やモバイルルータ、予備充電器の貸与により、アプリによる宿題や、臨時休業中の遠隔授業の環境が整い、積極的に活用されております。

また、ICT教育の推進は、教職員の指導力、機材理解の向上が必須であり、ICT教育支援員が中心となり、活用例の紹介や課題解決のためのフォローを行っているほか、教職員間においても、利活用に関するノウハウの共有等の自主的な取組が進んでおり、教職員1人ひとりの指導力の向上が見られております。

今後も、効果的で質の高い教育のためのICT利活用を進めていきます。

写真の上段①は、小学校でのタブレットドリルを使った学習の様子で、また②の中学校のグループ学習では、ホワイトボードなどへ転記することなく、端末に個々の意見を共有し、効率的に学習を行っています。

次に、2ページをお願いいたします。

美馬市英語教育推進事業 0歳児から中学卒業までの一貫した英語教育の実現について、1事業目的のグローバル化が進展する新しい時代に対応できる人材を育成するため、2事業内容として、指導要領の改定による小学校の英語活動・教育を本市では2年早い平成30年度から実施し、外国語教育指導監が、教員の指導、助言を行ってきました。

市の推進計画も4年目を迎え、市内の小中学校教員は、外国人講師等との授業を組み合わせながら、自信をもって英語教育に取り組んでおります。

小学校5・6年生では、外国人講師とともに、パフォーマンステストを実施し、中学校教育を見据え、振り返りを実践的に行っていきます。

中学校では、ALTが遠隔授業も併用しながらコミュニケーション学習の強化を図るとともに、中学校卒業までの英検3級合格を目指し受験料助成事業を行っていますが、取得率は計画が目標とする50%にまだ、達していません。今後とも、生徒へ検定への挑戦や合格の意義を伝え、取得率の向上を図って参ります。

認定こども園、小学校も1年生から外国人講師と英語活動を行い、就学前から小中学校へ段階的な英語教育を実施しています。

英検受験料助成事業の今年度の状況は、中学3年生195名のうち、助成者数は、113名で、生徒数に対する割合は57.9%、3級以上の合格者は、78名で、生徒数に対する割合は、40.0%で、昨年度より、生徒数に対する受験者の割合は、5.6%上回りましたが、合格者は、4.1%下回る結果となりました。

表は、事業を開始した平成30年度からの4か年の状況でございます。年度により波もありますが、傾向としては、上向きと考えておりまして、引き続き学校へ事業活用の啓発と指導を行って参ります。

続きまして3ページをお願いいたします。

美馬市産米給食推進事業 県下一美味しい給食を目指してでございます。

1事業目的は、美味しい学校給食による地産地消を推進と、食による郷土への愛情を育て、子どもたちの心身の発達を図るものでございます。

2事業内容といたしましては、子どもたちに美味しいお米と安全安心で美味しい給食を提供するため、統一献立の実施や全国学校給食甲子園への参加により、特色ある学校給食づくりを進めております。

本年度の全国学校給食甲子園では、穴吹学校給食センターが県の一次審査を通過いたしましたが、県代表となることができませんでした。

今年度から脇町地区中学校のデリバリー給食が、学校センターによる給食となり、全ての幼小中学校で学校給食センターによる給食を実施できることとなりました。

毎年実施しているアンケートでは、子どもたちの給食への満足度が昨年度より7ポイント上昇し、お米のおいしさで6ポイント、完食率も4ポイント向上する結果となりました。

写真は、本年度の全国給食甲子園参加献立は記載のとおりですをご覧ください。

4ページをお願いいたします。

本年度実施した主な市内小中学校施設管理・整備関係事業でございます。

令和3年度は、主な事業として、1穴吹中学校の防球フェンス更新事業と、2穴吹小学校の駐車場舗装整備事業では、廃園となった穴吹幼稚園舎跡の舗装整備をおこないました。整備の状況は写真のとおりです。

資料2の教育総務課所管分の主要事業は以上でございますが、幼小中学校のICT教育、英語教育などの各校の教育活動を別添の資料にまとめていただいておりますので、少し御紹介いたします。

別添資料 美馬市立幼稚園、小学校、中学校令和3年度学校（園）活動をご覧ください。

始めに幼稚園の活動でございますが、2ページをご覧ください、幼稚園では、ヴォルティス元気っずプログラムによる運動遊びや外国人講師による英語活動、また小規模園では他園との交流をコロナ禍のなかりモートで行うなど、美馬市の特徴ある就学前教育を実施し、子どもたちがいろいろな体験から成長しています。

小学校では、21ページの岩倉小学校をご覧ください。

ICT教育では、基礎基本の定着にタブレットドリルやその他の学習ソフトを活用し、1人ひとりのペースにあった予習復習をすすめたり、カメラが一体となった端末の使用により、学習が効率化し、子どもたちの主体的な学習が進んでいます。

また、オンライン会議や、オンライン授業への対応を進めてるほか、地元企業の協力によるプログラミング学習の実施など、通常の授業、コロナ対策、特別学習など様々な場面でICT教育の利活用を実践し、教育の質を向上させています。

中学校では、57ページの三島中学校をご覧ください。

ICT教育では、教職員がまずスキルアップに取り組み、タブレットによる生徒ひとり1人に対応する個別学習、また意見集約ができる機能を活用した協働学習への活用をおこなったり、校外の講師による講演会や登校できない生徒へのリモート支援など多様な学習機会へICTの利活用を広げています。

成果には、学校全体で取り組む学習活動を通じて、生徒と教員のスキルアップができる、デジタル教科書によりわかりやすい授業ができることをあげています。

一方で、課題として、デジタル教材の蓄積をあげており、教育委員会では、各校の課題や成果の共有化を進め、一層効果的なICT教育の実践のための支援を行っていきます。

各校の、英語教育やコロナ対策、特別支援教育等その他の取組につきまして、後ほどご覧いただきたいと存じます。

以上で学校教育の説明を終わります。

続きまして、地域学習推進課よりご説明いたします。

資料2の5ページをお開き下さい。

1 社会教育関係でございます。

まず始めに、成人式についてでございますが、令和2年度延期開催分及び令和3年度成人式を、令和4年1月2日に、ミライズ市民ホールにおきまして開催いたしております。

令和2年度延期開催分につきましては、11時に式典を開始いたしまして、対象者283人のうち、140人が出席されました。

令和3年度分につきましては、15時に式典を開始いたしまして、対象者265人のうち、207人が出席されました。

つぎに、放課後子ども教室運営事業でございます。

事業内容といたしましては、学校施設などを活動拠点とし、地域住民の参画のもと、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する事業でございます。現在市内7つの小学校区と3団体のスポーツクラブで実施されており、543人の子どもたちが参加しております。

次のページをお願いいたします。市立図書館運営事業でございます。

市立図書館は、株式会社図書館流通センターに指定管理として委託し、運営を行っております。

本年1月末までの利用状況といたしましては、開館日数238日の間に、来客数が6万3千96人でございまして、その内、本の貸出しを利用した方が1万9千321人で、貸出冊数が12万9千364冊でございます。

本年度の新型コロナウイルス感染症対策といたしましては、県の要請により、昨年4月29日から5月6日まで臨時休館をいたしましたほか、学びハコの使用中止といったものでございます。

イベントといたしましては、藍・藍染めに関する企画展や阿南市在住の絵

本作家の絵本原画展、講演会を開催いたしております。

また、県立文書館、四国大学、うだつの町並みボランティアガイド連絡会等と連携いたしまして、企画展やイベントを開催し、地域の歴史・文化を学ぶ機会を提供しております。

8ページをお開き下さい。次に、人権教育でございます。

まず、①人権教育推進協議会についてでございます。

現在、活動が休止状態にあります人権教育推進協議会を再開するため、3月28日に総会の開催を予定しております。

部落差別をはじめとするあらゆる人権問題に対して、市民が中心となり自主的な活動ができる体制を整えるものいたします。

次に②人権教育指導者育成講座についてでございます。

市内の企業、各種団体での人権教育指導者を育成するため、年4回の講座を開催いたしまして、21人の方が受講しております。

次に③人権講演会についてでございます。

パートナーシップ宣誓制度の導入に向けた準備を進めていることから、性的マイノリティの課題を全体化するため、「知ってほしいLGBTのこと」と題して、タレントのKABAちゃんのトークショーを開催いたしております。

次に④人権フェスティバルについてでございます。

人権フェスティバルを本年2月22日から27日まで、ミライズにおいて開催いたしております。

昨年に続き、発表会及び閉校式は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止いたしました。教育集会所事業で学んだ教室生の作品展示を行っております。

次に、第17回美馬市文化祭でございます。

第17回美馬市文化祭を令和3年11月6日から12日までの7日間、ミライズにおいて開催いたしております。

6日の午前中には、開会式を行い、午後よりは、講師に伊沢拓司氏を招き講演会を開催いたしております。

写真を掲載しておりますように、各種団体の芸能発表や作品展示も行っております。

また、協賛事業といたしまして、9月15日から12月15日の間に文化・芸能・スポーツなどの32の行事も開催いたしております。

次に2社会体育関係でございます。

昨年6月より、市体育協会が改名され市スポーツ協会となりまして、加盟団体が22団体、会員数は1,226人でございます。

総合型地域スポーツクラブは5団体、スポーツ推進員32人、スポーツ少年団は12団体でございます。

次のページをお願いします

社会体育施設管理といたしまして、うだつアリーナ、穴吹スポーツセンター、美馬市民グラウンド、吉野川河畔ふれあい広場などの施設がございます。

また、本年度は、照明のLED化、フロアの張り替え、外壁の補修などうだつアリーナの大規模改修工事を行い、施設の安全性の確保、利用者の利便性の向上を図っております。

次に、第68回徳島駅伝につきましては、本市選手団の成績は、総合成績で3位、中学生総合準優勝、女子総合第3位と好成績を挙げております。

3文化財関係でございます。

本市におきます、指定文化財といたしまして、国指定重要文化財が5件、国選定重要伝統的建造物群保存地区が1件、国登録有形文化財が28件、県指定文化財が17件、市指定文化財が59件ございます。

また、指定文化財修理事業といたしまして、三木家文書保存事業の補助を行っております。

次ぎに、伝統的建造物群保存対象事業でございます。

事業内容といたしましては、保存修理に係る補助を行うものでございまして、本年度は、2件の修理事業、5件の災害復旧事業の補助を行っております。

次のページをお願いします。埋蔵文化財関係でございます。

埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に伴う事前調査を本年1月末時点で26件行っております。

住友次長

次ぎに、各種検討委員会の開催でございます。
郡里廃寺跡整備検討委員会を7月、9月、12月に開催いたしまして、整備基本計画策定に向けて協議を行っております。
また、歴史資料館整備検討委員会つきましても、8月に開催いたしまして、整備に向け、協議を行っております。
最後に、日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業でございます。
令和元年5月に日本遺産に認定されました、阿波藍について、サポーター養成講座や古文書巡回展を開催いたしております。
以上で地域学習推進課の主要事業の実施状況の説明を終わります。
ご審議の程、よろしくお願いたします。

議長
(藤田市長)

議題(2)について、それぞれ説明がございましたが、何かご意見がございましたら、お願いたします。

(意見なし)

議長
(藤田市長)

それでは、次に議題(3)の教育費の令和4年度当初予算(案)について事務局から説明してください。

事務局長
(吉本総務課長)

それでは、議題(3)の「教育費の令和4年度当初予算(案)について」副教育長から、説明させていただきます。

大泉副教育長

教育費の令和4年度当初予算(案)についてご説明いたします。
資料2の13ページをお願いします。
こちらの表は、令和4年度 美馬市一般会計の当初予算案のうち、教育費の概要を記載したものでございます。
この表は、左から、右に向かって、予算の項と目の区分、令和4年度と3年度の予算額、予算額の比較、財源内訳、そして、右端の説明欄には、目ごとの主な事業などについて、記載を致しております。
それでは、この表に沿って、主な内容の説明をさせていただきます。
最初に、教育総務費の項でございます。
上段の教育委員会費の予算額は、82万6千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおりであります。
下段の事務局費の予算額は、2億1千61万円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、
説明欄に記載のとおり、外国語活動支援講師2人、外国語教育指導監1人、ICT教育支援員1人の報酬などを計上しています。
このほか、説明欄への記載はございませんが、教育長や教育総務課の職員の人件費をはじめ、学校医や学校薬剤師、ICT支援員などの人件費のほか、木屋平教員宿舎の修繕経費として、屋根の修繕工事の設計委託料や、木屋平プラウト協同組合の派遣労働者が入居する場合における部屋の修繕料なども計上しております。
なお、3年度の予算額と比較して、2千484万1千円の減額となった主な理由は、第3次 教育振興計画策定事業の終了や、教育用サーバの更新事業費の減額などでございます。
次に、小学校費の項でございます。
上段の学校管理費の予算額は、1億7千582万9千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市内の小学校の管理運営費等と教育用コンピュータ借上料等であります。
このうち、教育用コンピュータ借上料等の主なものと致しましては、パソコン教室などに整備しているノート型パソコンなどの借上料859万1千円のほか、スライド式大型電子黒板の借上料773万1千円や、オンライン学習教材使用料231万円などあります。
このほか、説明欄への記載はございませんが、助教員や支援員といった会計年度任用職員の人件費や、新年度から、新事業として実施する学校のトイレに生理用品を常備する事業の経費なども計上しております。
なお、3年度の予算額と比較して、1千671万1千円の増額となった主な理由は、ネットワーク機器の更新や、教育用仮想基盤サーバの更新などの経費の計上であります。

次に、下段の教育振興費の予算額は、8千173万8千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業と要保護及び準要保護児童就学援助費などです。

このうち、スクールバス等運行事業は、タクシーによる遠距離児童通学輸送事業の分も含め、3千683万1千円を、また、要保護及び準要保護児童就学援助費等は、特別支援教育 就学奨励費の分も含め、1千971万5千円を、計上しております。

このほか、説明欄への記載はございませんが、会計年度任用職員のスクール・サポート・スタッフの7人分の人件費や、藤田市長のあいさつにございましたように、新たに実施する漢字検定・算数検定の受験料の助成の経費なども計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、423万4千円の増額となった主な理由は、遠距離児童通学輸送業務委託料の増や、先ほど申し上げた新事業の漢字検定・算数検定の受験料の助成の経費200万円などの計上であります。

次に、中学校費の項でございます。

最初に、学校管理費の予算額は、1億893万4千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市内の中学校の管理運営費等と教育用コンピュータ借上料等です。

このうち、教育用コンピュータ借上料等の主なものとしては、生徒用の1人1台のタブレット型端末の借上料1千786万2千円のほか、パソコン教室に整備しているパソコンの借上料1千万8千円や、スライド式大型電子黒板の借上料458万1千円、オンライン学習教材使用料、277万2千円などです。

このほか、説明欄への記載はございませんが、助教員や支援員といった会計年度任用職員の人件費や、小学校と同様、学校のトイレに生理用品を常備する事業の経費なども計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、179万3千円の減額となった主な理由は、電気料金の減などです。

次に、教育振興費の予算額は、8千460万5千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業と要保護及び準要保護生徒 就学援助費などです。

このうち、スクールバス等運行事業は、タクシーによる遠距離生徒通学輸送事業の分も含めまして、2千373万8千円を、また、要保護及び準要保護生徒就学援助費は、特別支援教育就学奨励費や、夜間中学校就学支援費も含めまして、1千895万4千円を、計上しております。

このほか、説明欄への記載はございませんが、部活動指導員や、スクール・サポート・スタッフといった会計年度任用職員の人件費なども計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、549万1千円の増額となった主な理由と致しましては、部活動指導員を5人から8人へと3人増員し、また、スクール・サポート・スタッフ」を4人から5人へと、1人増員したことのほか、これまでの英検受験料に加え、小学校と同様、新たに実施する漢字検定・数学検定の受験料の助成の経費、さらには、夏季総体や秋の新人大会が、三好市などを含む西部ブロックでの開催となり、競技会場の範囲が拡大することに伴う、生徒送迎用のバス代の増額などです。

次に、外国青年招致事業費の予算額は、2千823万円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、外国語指導助手、いわゆるALT6人分の活動経費などです。

なお、3年度の予算額と比較して、472万8千円の減額となった主な理由は、令和3年度までは、ALTを各中学校に1人常駐させる7人体制としてまいりましたが、4年度は、生徒数が少ない木屋平中学校は、穴吹中学校との兼務とするため、1人減らして、6人体制とすることによるものです。

次の学校建設費は、令和4年度は、予算を計上しておりません。

なお、3年度の予算額の1千199万8千円は、穴吹中学校防球フェンス更新工事の経費などです。

次に、表の最下段の、幼稚園費の項でございます。予算額は、8千264万円を計上しています。

説明欄に記載のとおり、予算の主なものと致しましては、脇町幼稚園と木屋平幼稚園の2園に係る幼稚園の管理運営費と、脇町幼稚園で実施する予定の一時預かり事業、いわゆる預かり保育事業などの経費でありまして、主に、職員の人件費でございます。

なお、3年度の予算額と比較して、1千679万1千円の増額となった主な理由は、正規職員の人件費の増などでありまして、

14ページをお願いします。

次に、社会教育費の項でございます。

最初に、目の最上段、社会教育総務費の予算額は、7千229万4千円を計上しております。

説明欄に記載のとおり、予算の主なものと致しましては、小学校の児童たちの放課後対策として、実施している放課後子どもプラン事業と、各中学校区におきまして、地域ぐるみで学校運営を支援するために、取り組んで頂いている学校支援地域本部事業の経費などがございます。

このほか、説明欄への記載はございませんが、文化祭や、二十歳の集いの経費、また、地域学習推進課の一部の職員の人件費なども計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、509万1千円の減額となった主な理由は、正規職員の人件費の減のほか、放課後子どもプラン事業における教室数が11から10に減少したことなどで、あります。

次に、公民館費の予算額は、182万6千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおりであります。

次に、図書館費の予算額は、6千925万1千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市立図書館の光熱水費などの管理運営や、指定管理料などの経費でございます。

なお、3年度の予算額と比較して、390万円の増額となった主な理由は、地域交流センターミライズ内にアンドワークという愛称のテレワーク促進施設が4月にオープンする予定でございまして、これに伴い必要となる電気料金の増などがございます。

次に、文化財保護費の予算額は、1千790万5千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、文化財、これは、青木家、三木家、郡里廃寺跡、段の塚穴などの文化財でありまして、文化財の管理運営や、郡里廃寺跡 環境整備事業の経費などでありまして、

このうち、郡里廃寺跡 環境整備事業につきましては、令和5年度の秋頃に工事に着工する予定とされていることから、藤田市長のあいさつにございましたように、4年度は、工事の設計に着手します。

設計業務につきましては、基本設計と実施設計を5年度の7月頃までには、完了する予定でございまして、その委託料の総額1千398万9千円のうち、4年度分としては、1千19万8千円を計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、1千300万9千円の減額となった主な理由は、郡里廃寺跡 環境整備事業における用地購入費や、整備基本計画策定支援業務委託料について、それぞれの事業が完了したことなどがございます。

次に、重要伝統的建造物群保存対策事業費、資料には、短くして重伝建保存対策費と記載していますが、予算額は、1千540万7千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、うだつの町並み建造物保存事業の経費を計上しておりまして、3件の保存修理に係る助成金、1千500万円などを計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、844万9千円の増額となった主な理由は、建造物の修理件数と、これに要する助成金額が、それぞれ増となったためであります。

次に、教育集会所事業費の予算額は、407万6千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、教育集会所の管理運営経費であります。

なお、3年度の予算額と比較して、112万1千円の増額となった主な理由は、施設の修繕料や、備品購入費の増などがございます。

次に、人権教育費の予算額は、439万千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、人権教育・識字学級交流事業の経費などがございます。

このほか、説明欄への記載はございませんが、人権教育推進協議会の活動経費が計上されています。

なお、同協議会は、現在のところ、再構築されておられませんので、4年度の当該予算につきましては、3年度と同様、協議会に対する補助金ではなく、例えば、県外での大会への参加経費は、旅費やバスの借上料で、また、講演会の講師の経費は、報償費で、といったように、それぞれ、該当する費目に振り分けて、計上しております。

そのほかにつきましては、記載のとおりでございます。

次に、青少年育成センター費の予算額は、757万1千円を計上しております。内容は、記載のとおりであります。

次に、保健体育費の項でございます。

最初に、上段の保健体育総務費の予算額は、3千154万3千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、各種スポーツ振興事業などの経費でございまして、地域学習推進課の一部の職員の人件費のほか、市のスポーツ協会、スポーツ少年団、徳島駅伝の選手育成事業などに対する補助金などでございます。

なお、3年度の予算額と比較して、132万5千円の減額となった主な理由は、人件費や補助金が減となったことなどです。

次に、中段の体育施設費の予算額は、9千283万2千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、体育施設管理運営事業、これは、うだつアリーナを含む都市公園や、美馬リバーサイドパークの指定管理料など、そして、下段の美馬リバーサイドパークトイレ設置工事請負費の経費などでございます。

このうち、美馬リバーサイドパーク トイレ設置工事につきましては、現在の名称吉野川河畔ふれあい広場でございますがテニスコートを廃止し、そちらに、トイレを設置する予定であります。

このほか、説明欄への記載はございませんが、岩倉国民体育館の解体工事の設計委託料も計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、1億7千605万6千円の減額となった主な理由は、うだつアリーナ大規模改修工事請負費について、事業が完了したことなどでございます。

次の学校給食費の予算額は、7億8千224万9千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、上段の学校給食センター、これは、3つの共同調理場と、穴吹学校給食センターの合計4つ施設のことですが、学校給食センターの管理運営事業として、職員の人件費をはじめ、美馬市産米 給食推進事業の経費など、そして、下段の学校給食センター整備事業の経費でございまして。

学校給食センター整備事業は、3年度に引き続き、4年度も美来創生局において所管し、事業を進めてまいります。関係予算は、学校給食費で計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、5億1千859万1千円と、大幅な増額となった主な理由は、ただ今申し上げた学校給食センター整備事業に本格的に着手することなどでございます。

教育費の総額と致しましては、表の最下段の計のとおり、4年度の予算額は、18億7千275万9千円です。

この額は、前年度の予算額と比べて、21.9パーセント増の、3億3千681万2千円の増額となっております。

以上、簡単ではございますが、令和4年度当初予算（案）の説明とさせていただきます。よろしくご説明致します。

議題（3）、教育費の令和4年度当初予算（案）について御質問や御意見がございましたら、お願いいたします。

（意見なし）

議長
(藤田市長)

それでは、議題（３）の教育費の令和４年度当初予算（案）につきましては、今月２１日に開会しました令和４年３月美馬市議会定例会に提案し、議会の審議を頂いておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議長
(藤田市長)

最後にその他の件について、何か委員の皆さんからございましたら、お願いいたします。

村岡教育長

教育委員会事務局として、一言お礼を申し上げたいと思います。
藤田市長におかれましては、日頃より各種教育行政の推進に格別の御理解と御協力を賜っておりますことを、また教育に多額の予算を計上して下さっておりますことに関しまして、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

ちょうど２年前に全国一斉臨時休業という想定外の宣言以来、コロナに翻弄され続け、今日も臨時休業を余儀なくされている学校がございますが、ギガスクール構想実現のための一人一台タブレット、安全安心な配信環境を整備して下さったおかげで、教員も子どもたちも操作能力を向上させて緊急の場合であっても慌てることなく、学校と自宅の両方でオンライン授業等で効率的に活用できるよう繰り返し練習し、準備をすることができました。

また、デリバリーでは味わえなかった温かくおいしい給食の提供や、ネイティブ講師による英語教育の充実、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の指導による教員の負担軽減等、また社会教育関係では２年度分の成人式の開催、放課後子ども教室や市立図書館の運営事業等、藤田市長の教育に対する深い御理解のおかげで美馬市ならではの教育を推進することができております。

今年度の各学校の取組や活動につきましては、先ほど藤本課長より簡単に説明、紹介させていただきましたが、またお時間があるときに御高覧いただければ幸いに存じます。

コロナ感染症の拡大や急激な社会環境の変化により、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しており、家庭や地域の教育力の低下、不登校、肥満傾向の増加等、新しい課題も生じておりますけれども、第３次教育振興計画に沿って、関係の皆様と連携協力をし、一丸となって本市の教育を一層進めてもらいたいと考えております。

本日、市長からいただきました御助言やお言葉を十分踏まえ、本市の未来を担う子どもたちが、また市民の皆様が、ふるさと美馬市を誇りに思い、誰もが健康で活躍できる美来創生のまちを目指してしっかり取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後とも御指導をよろしくお願いいたします。

市長部局の皆様におかれましても、今後ともご理解と御協力をいただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

議長
(藤田市長)

他に御意見がなければ、以上をもちまして総合教育会議を閉会させていただきます。慎重な御審議を賜りまして、ありがとうございました。

吉田企画総務部長

以上をもちまして令和３年度美馬市総合教育会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

(午後２時１５分終了)